市民活動支援センター

No.9

設立検討市民ワーキングだより

発行：市民活動支援センター準備室

市民ワーキング終了！

～第８回市民ワーキング～
『支援センターの検討』から『推進組織の立上げ』へ

日時：12/16（木）午後７時～　場所：廿日市市役所本庁舎７階会議室

廿日市市では、旧広島県西部自治会館をリニューアルして、市民活動支援センターを設立する予定です。この施設がより市民の方々に利用しやすいものとするため、主要な市民活動団体から選出された市民の方にご参加いただき、平成16年６月からワーキングを行ってきましたが、今回をもって終了することにしました。これからは、この検討結果を反映した市民活動支援センターの設立に向けて取り組んでいきます。

ワーキングの経過

第１回　6/17(木)　参加者：13名

“ 市民活動支援センターへの期待を語る ”

センターの設置経緯と機能及びこのワーキングの進め方の説明に続き、センターへの期待を話し合い、最後に建物内を見学して、現状を確認しました。

第２回　7/15(木)　参加者：15名

“ 機能や備品の配置を考える part1 ”

施設の模型を使って、どこを何の部屋にして、どのような設備や備品があったら良いかを考えるワークショップに取り組みました。

第３回　7/24(土)　参加者：13名

“ 他市の市民活動支援センターを視察する ”

山口市と周南市のセンターを視察して、センターとはどのようなものなのか、ワーキングチームのみなさんに、イメージをわかしていただきました。

第４回　8/19(木)　参加者：12名

“ 機能や備品の配置を考える part2 ”

第２回ワーキングの成果をもう一度見直し、それで良いか、追加はないか確認して、センターの施設や設備等の最終取りまとめを行いました。

第５回　9/16(木)　参加者：13名

“ 市民活動支援センターの活用を考える part1 ”

第２回・第４回のワーキングで検討した結果を踏まえた施設整備案を確認し、続いてセンターが提供するサービスやその体制など、その活用について考えました。

第６回　10/14(木)　参加者：14名

“ 市民活動支援センターの活用を考える part2 ”

事務局による福山市のセンターの視察報告及び喫煙コーナーの整備方針の説明をした後、第５回のワーキングに続き、センターをどのように活用したら良いか考えました。

第８回ワーキングの報告　　参加者９名

11/18（木）に開催した第７回のワーキングにおいて、運営組織はどのようにすれば良いかを話し合っているうちに、新たな運営組織をつくって行うこととし、早くその組織を立ち上げようという意見が出ました。

そこで、市民活動支援センターの設立を検討する時期は終えたと考え、次のステップに進むためにも、このワーキングを一旦終了させることにしました。

従って、12/16（木）に開催した第８回ワーキングでは、初めにこれまでの７回のワーキングで検討した成果を確認しました。休憩を挟んだ後、センターの機能を担う市民活動団体はどこがあるか、また、センターを運営する組織を、全市的に市民活動を推進する組織とするには、どのような団体・機関でつくれば良いか、意見を出し合いました。

ワーキングの様子

今回をもって全プログラムを終了したので、今後は組織立上げに向けた準備会をつくっていくことを説明し、このワーキングチームの皆さんに準備会への参加をお願いしました。

終わりに、藤井室長から皆さんにワーキングチーム参加のお礼を述べ、再会を誓って今回のワーキングを終わりました。

第７回　11/18(木)　参加者：11名

“市民活動支援センターの運営を考える”

センターを遅くまで開館するにはどのようにしたら良いか、また、センターの運営はどのような組織が行えば良いかを考えました。

市の施設等の配置案

ワーキングで検討された内容をもとに、施設や設備などの配置案について、図などを用いて説明しました。

【１階】

区　分	内　　容
交流スペース	・テーブル・椅子、展示パネル、公衆電話 ・自由に、無料で利用できる。 ・販売コーナーを設ける。
フリー会議室	・テーブル・椅子 ・自由に、無料で利用できる。
情報コーナー	・テーブル・椅子、パソコン・プリンター、書棚、掲示板 ・自由に、無料で利用できる（一部実費負担あり）。
相談コーナー	・カウンター・椅子 ・コーディネーターを置く。
メールボックス	・団体事務局の所在地がセンターになる（申込制）。 ・団体間の情報交換に利用できる。 ・利用料は無料
喫茶サロン	・喫茶・軽食
休　憩　室	・スタッフ休憩室
事　務　室	・市民活動支援センター事務室 ・机・椅子、パソコン・プリンター、電話・ＦＡＸ、コピー機

【２階】

区　分	内　　容
大会議室	・定員約90人 ・長机・椅子、マイク・スピーカー・アンプ、スクリーン ・セミナー、団体総会、講演会、映写会等多目的に利用できる（申込制）。 ・室内は、パーテーションで分割できる。
中会議室	・定員約45人 ・長机・椅子、スクリーン ・学級、講座など中規模な催しに利用できる（申込制）。
小会議室	・定員約30人 ・長机・椅子、スクリーン ・打合せ、ミーティングなど小規模な会議等に利用できる（申込制）。
会議室共通	・事前予約ができる（登録団体は早めにできる）。 ・インターネットによる予約システムを導入する。 ・視聴覚機器はポータブルなものにする。 ・利用料は有料（登録団体は減免）
相　談　室	・テーブル・椅子 ・個別相談のほか、講師控え室、接客にも利用できる。 ・空室の場合は、無料で利用できる。
倉　　庫	・相談室横の倉庫は撤去して、ロビー部分を広くする。
屋　　上	・喫煙場所等有効利用する。

【３階】

区　分	内　　容
共同オフィス	・机・椅子、書庫、パーテーション ・市民活動団体が事務局を置ける（申込制）。 ・専用の電話（インターネット可）回線を敷設する。 ・利用料は有料
作業コーナー	・作業テーブル・椅子、コピー機、印刷機 ・市民活動団体が作業できる。 ・自由に、無料で利用できる。 ・コピー・印刷は、用紙等の実費を負担していただく。
ロッカー	・市民活動団体が事務用品を保管できる（申込制）。 ・利用料は無料
会　議　室	・テーブル・椅子 ・市民活動団体が打合せ、ミーティング、接客等に利用できる。 ・空室の場合は、無料で利用できる。
和　　室	・座卓、座布団、寝具（救急用） ・座談会、親睦会等に利用できる（申込制）ほか、救急時の休憩場所に利用する。 ・救急時の利用を除き、利用料は有料（登録団体は減免）
休　憩　室	・コンロ、流し、戸棚、テーブル・椅子 ・市民活動団体が休憩できる。 ・自由に、無料で利用できる。

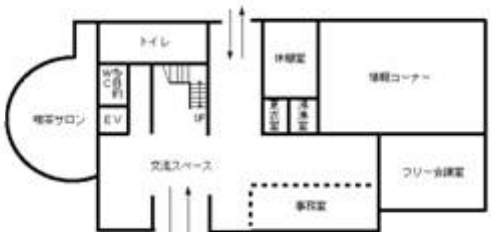
【館内共通】

区　分	内　　容
トイレ	・男性用・女性用の比率を見直す。 ・身障者用を新設する。
エレベーター	・新設する。 ・身障者対応にする。
セキュリティ	・事務局を置く団体が自由に出入りできるシステムにする。
その他	・バリアフリー対応 ・全館禁煙

【外構】

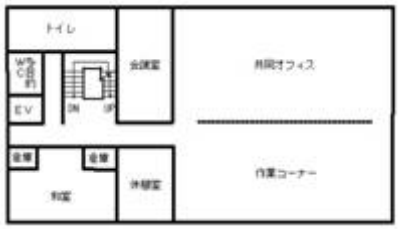
区　分	内　　容
駐　車　場	・イベントができるように、建物外部にコンセントを設ける。 ・夜間の明るさ確保のため、建物に防犯灯程の証明を敷設する。 ・駐車料金は無料
レンタル倉庫	・物置又はコンテナ ・市民活動団体が大型物品を保管できる（申込制）。 ・利用料は有料

＊１階



＊２階

＊３階



グループトーク　その１

『ワーキングの検討成果について確認する』

２班に分ける予定でしたが、参加人数のバランスにより、班分けをしませんでした。

施設や設備などの配置案について、ワーキングで検討してきたことが活かされているかどうか、もう一度確認しました。

☆ここが気になる．．．

●喫煙場所について（→２階屋上の有効利用の一環で喫煙場所にする案）
- 喫煙する場は交流の場にもなる。雨が降っても移動しなくてよい、固定した喫煙コーナーは設けられないか。
- ３階バルコニーは屋根がある。館内はダメでも、バルコニーぐらいはＯＫにしてはどうか。
- 喫煙に関するルールを決めればよいと思う。

●３階共同オフィスについて（→パーテーションで仕切る案）
- パーテーションで仕切ると、暗くなってしまうのではないか。
- パーテーションがないと、電話の声などで迷惑を掛けてしまうのでは。

●３階会議室について（→自由に使えるようにする案）
- 空き状況が分かるようにして欲しい。

●駐車場について
- 大勢が参加する会議をする場合、駐車できる台数が気になる。

グループトーク　その２

『市民活動の推進組織の立上げについて考える』

　これまでのワーキングにより、市民活動支援センターがどんな建物になるのか、そのイメージができ上がりました。そこで、この市民活動支援センターを拠点として、廿日市全体の市民活動をサポートしていくには、どのような団体が一緒になって進めていけばよいのか、そして、その一緒になった組織はどのようなしくみになるのか、みなさんで考えてみました。その結果は、壮大なものになっていきました。

進め方

1．市民活動支援センターの持つ機能（①ネットワークづくり、②相談、③人材育成・研修、④情報収集・提供、⑤活動拠点）について、どの団体が担うことができるか、付せん紙に書き込みました。
　　A．初めに　→ 自分達の団体は、どの機能を担うことができるだろうか。
　　B．次に　　→ 他の市民活動団体には、どの機能を担ってもらおうか。
2．続いて、一緒になってできたらイイナと思う団体・機関について、付せん紙に書き込みました。
3．最後に、これらが一緒になった組織のしくみを考えました。

こんな組織ができないだろうか・・・

市民活動団体
- コミュニティ団体
- ボランティア団体
- 非営利団体

市民活動推進組織

アドバイザー的な団体
- 公民館
- 学校
- 商工会議所・商工会
- 企業
- ＬＣ・ＲＣ
- 社会福祉協議会
- 民生委員
- 医療機関
- 大学
- ひろしまＮＰＯセンター
- 中国地域づくり交流会

など

支援

行　政

●意見・感想

- 当初は、行政からの支援が必要だ！
- これを機会に、これらがつながるとよい！
- 一緒になってくれるだろうか。
- このネットワークがつながれば、廿日市の「まち」は元気になる！

　このワーキングは、非常に雰囲気がよく、毎回、どのようにまとまっていくのか開催が楽しみでした。このような取り組みは、センターを市民運営にするからではなく、施設や行政計画は、皆さんの知恵でつくり上げるものと感じているからです。
　ワーキングはこれで終わりますが、今後、施設の管理運営も行う市民活動の推進組織の立上げに向けた準備会へと移行します。その際には、ぜひご参加していただきたいと思います。
　今、廿日市には「まちづくり推進会議」のような大きなネットワークを組む必要があると思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

　これまでのワーキングの流れを、廿日市市役所のホームページで見ることができます。

http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/sumai_machi/katsudo/katsudo_4.html